

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
③交流・移住・定住の促進	多文化共生のまちづくりの推進	・外国人住民も地域社会の一員として活躍できるような環境づくりを推進していく必要があるが、外国人住民が地域と関わりを持つ機会が少ない。

市町名	大学・高校等に期待する取組
広島市	外国人市民の母国等の文化や日本文化等を紹介する交流イベントなど、外国人市民と地域が交流する機会を設けるための取組について検討していただきたい。
三次市	外国人住民の方が生活されている中で、多国籍の外国人住民が集える場、困りごとを話せる場、地域住民との交流の場が少なく、それに対する施策を検討していただきたい。
東広島市	外国人市民数は令和8年1月末時点10,122人で、総人口に対する割合が高く、また100を超える国や地域から来日した外国人が暮らしている。外国人も地域社会の一員として地域活動に参加するために、どのような取組みをすれば地域との関わりを希望する外国人と地域がつながるかが課題である。この課題に対する方策を研究、検討していただきたい。
江田島市	日本語教室に関わる外国人のボランティアスタッフの仕組作りを検討していただきたい。
海田町	本町においては国際交流協会が「多文化共生」に関する事業を実施、外国人住民が地域と関わりを持つ機会の創出を担っている。コロナ禍の影響による人と人との関わり希薄化等により、実施事業への参加者数減少など盛り上がり欠ける現状が続いている。外国人住民と地域が気軽に関わることのできる機会、環境づくりに向けたアイデアをいただきたい。
坂町	外国人住民が孤立することのない地域づくりをするための施策について検討いただきたい。
世羅町	技能実習制度の見直しによる、行政の取組を提案していただきたい。
岩国市	外国人住民が地域と関わりを持つ方法などについて検討していただきたい。
上関町	今後も外国人との交流の機会が増えることが見込まれるため、多文化共生のまちづくりを進めるにあたって方策を検討していただきたい。
浜田市	外国人住人が地域活動やイベントに参加しやすくなる取組を検討していただきたい。
出雲市	本市では、外国人住民が年々増加する一方で、必要な情報が十分に伝わらない、日本人とのつながりが生まれにくいなどの課題が生じている。特に、言葉の壁は教育、医療、仕事、地域交流など、日常生活に大きく影響するにもかかわらず、日本語指導の体制は十分に整っていない状況である。そのため、日本語を学べる環境の提供、日本人との交流促進、日本人への意識啓発など、外国人住民と日本人が互いに理解し合い、安心して暮らせる地域づくりにつながる取組を提案いただきたい。